

# Weekly



●2019~2020年度国際ロータリー テーマ  
RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー  
ロータリーは世界をつなぐ

Rotary



東京八王子西  
ロータリークラブ

# Report

2019-2020 No.9 令和元年 12月13日

●会長標語

会長 石森浩元

ロータリーをたのしもう

## 今週のプログラム

- 第2580回(12/13)
- 会場 京王プラザホテル八王子

- \*卓話: 片桐未来経営研究所 代表 片桐 貴行様
- テーマ: 「銀行交渉を有利にするための必須知識〜銀行格付け〜」
- \*会員増強賞: 感謝状贈呈

## 次回のプログラム

- 第2581回(12/20)
- 会場 京王プラザホテル八王子

\*年忘れ家族例会

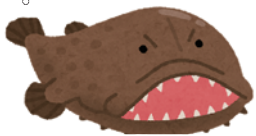
## 日帰り旅行

# 茨城県で本場のあんこう鍋を堪能しましょう!

2019.11.29 水戸・那珂湊方面



11月29日金曜日、日帰り旅行「茨城県で本場のあんこう鍋を堪能しましょう!」が行われました。京王プラザホテルを8時に出発し、あきる野ICより圏央道・東北道を通り、笠間西ICで下車、笠間市に鎮座する笠間稲荷神社に到着しました。日本三大稲荷のひとつにも数えられる有名なパワースポットで商売繁盛を祈願し、メインの昼食会場である水戸・名取亭へ向かいました。名取亭では、第2578回例会も行われ、評判通りの本場のあんこう鍋を堪能しました。その後、日本最大規模の藩校(重要文化財)の弘道館前を通過し、那珂湊お魚場外市場にて雄大な大海原、太平洋を臨みながらのお買いものを楽しみました。時間の関係で弘道館の見学が出来なかったことが少し残念でしたが、とても素晴らしい一日でした。親睦・家族委員会の皆様、素晴らしい時間をありがとうございました。





日帰り旅行  
水戸・那珂湊方面  
2019.11.29



# 例会報告

第2578回 ● 2019.11.29 (金)

◇司会 草間剛会場監督補佐

◇開会点鐘 石森浩元会長

◇お客様のご紹介 石森会長

塚本会員令夫人 繁子様

大石和春会員令夫人 智子様

相川会員令夫人 京子様

森崎会員令夫人 弘子様

◇出席報告 測上安出席委員



出席報告  
測上出席委員

会員110名中34名出席。  
出席率34・69%。前々回11月15日の出席率74・49%を86・73%をに修正します。

◇ニコニコ発表

松島勝出席財務委員長



ニコニコ発表  
松島財務委員長

◇会長挨拶 石森浩元会長



会長挨拶  
石森浩元会長

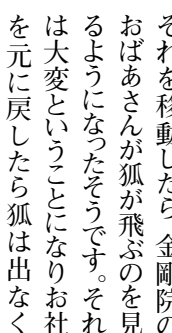
\*本日はたくさんの方々にご参加いただき誠にありがとうございます。

どぶ汁は元々海の上での漁師料理で、船の上では水がないので肝を普通の2〜3倍入るので楽しんでいただけたらと思います。

\*八王子には笠間稲荷が二つありまして、小澤元巳さんから教えてもらった話なのですが、金剛院の横には笠間稲荷から分けてもらったお社があり、それを移動したら、金剛院のおばあさんが狐が飛ぶのを見るようになったそうです。それは大変ということになりお社を元に戻したら狐は出なくなつたということです。昔は八王子でも講を作つてこちらの笠間稲荷へお参りに来ていたそうです。

\*今日は小杉さんのお誕生日です。(皆さんから拍手)何もないですがこの拍手をもってお祝いとさせていただきます。

◇閉会点鐘 石森浩元会長



田村肇  
親睦・家族  
委員長

◇ニコニコボックス  
2019.11.29 (金)  
石森会長・日帰り旅行にご参加頂きありがとうございます。又親睦委員会の皆さんご苦勞様です。

◇神辺幹事・親睦委員会の皆様ありがとうございます。

◇櫻崎・鈴木重春・本日は欠席させていただきますがどうぞよろしくお願ひいたします。

◇大石和春・親睦の皆さん、ご苦勞様です。小春日和の今日一日宜しくお願ひします。

◇金子、中村・親睦の皆様お世話になります。

◇高橋・どぶ汁、笠間稲荷神社楽しみです。サツポ口黒ラベルお願いします。

◇松島、瀬沼、草間、市川、浅川、池田、明利、平沼、三村、森崎・親睦の皆様お世話になります。

◇相川、黒須隆一、塚本、峰尾・一日お世話になります。

◇小杉、岸田、田村、井上、塩野、立花・楽しい旅行ありがとうございました。

◇加藤直也・親睦・家族委員会の皆様、日帰りの企画ありがとうございました。

◇笠井、小松、測上・今日は宜しくお願ひ致します。

◇磯間・あんこう鍋楽しみにしています。

◇仙田・本日はよろしくお願ひ申し上げます。

# 十二月三祝

師走 (しわす)

誕生花 カトレア  
ストレチア



## 会員誕生祝

大田 吉彦 84回

森 明 82回

田辺隆一郎 79回

檉崎 博 75回

測上 安 65回

笠井 豊 56回

高橋 光康 51回

平沼 北斗 50回

## 会員令夫人誕生祝

城所 敬子様

山田 美代様

榊田和加子様

伊藤 彩子様

池田あゆみ様

笠井 和美様

立花 章子様

山本 淳子様

船江 綾子様

## 結婚記念祝

船江 栄次 29回

八木 知祥 25回

的田 健司 19回

小林 秀司 5回

(順不同 会員敬称略)



船江栄次 会員

### 論語を人生の指針として

峰尾会長年度の昨年9月入会以来、東京八王子西ロータリークラブの皆様にはご指導をいただいております。心より感謝を申し上げます。

私は、東京都葛飾区で祖父が家業として割烹料理等の飲食店を、祖母が趣味として小さな呉服商を営み、父は町工場勤務、母は店の女将という家に生まれました。祖母は初孫の私を自分の夢であった日本舞踊家にするために3歳から稽古に通わせ、更に茶道、華道、書道、邦楽(三味線音楽)と増え、芸事の稽古浸けという特異な幼少期を過ごしました。私が小学生の頃祖父母が

病気のために引退することになり、呉服商はたたみ、店の経営を全く経験のない父に譲った時から家業は凋落の一途を辿りました。結果として住居だけが残り、父は勘当されて音信不通、母と私と弟は母の親類を頼って転居することになりました。失意のうちに他界した祖父が生前、お前に店を継がせることができず無念だと私に言ったこと、そして家族のみならず周囲も含め、人は豹変する、心も離れて行くという場面を目の当たりにして、子供ながらにショックを受けたことを今でも覚えています。

母が一人で生計を支えていたにも関わらず、国語・国文学に強い興味を持っていた私は、無理を言って二松学舎大学附属高等学校に進学させてもらいました。当時国語の授業では論語と徒然草が必修で、特に論語はその後の人格形成の格になっていきます。二松学舎は明治10年に先師三島中洲によって漢学塾として創立され、夏目漱石をはじめと

する文人墨客が学び、多くの教育者を世に輩出してきました。道徳経済合一説を提唱して合本主義を実践し、『論語と算盤』を著した渋沢栄一は1919(大正8)年に第3代舎長に、吉田茂は政界を引退した1963(昭和38)年に第5代舎長に就任しています。渋沢栄一の姻戚で第一銀行常務、渋沢倉庫社長・会長を歴任した八十島親義氏が、1949(昭和24)年、戦後の高尾山ケールブルカールの営業再開にあたり当社監査役に4年間就任し、時を経て1977(昭和52)年には会長に就任していることと、私が現在の職にあることは、論語のご縁であると思っています。

他大学への進学も視野に入れ人並みに受験勉強をしていた高校3年の夏休みに家計が非常に逼迫していることを知り、急遽進路を就職に変更しました。自ら決断したこととはいえ、その失望感は大大きく、この時が人生最大の分岐点であったと思います。証券会社に就職が決まり、夜間の大学

で学ぶことを選択した私は、会社と独身寮との中間地点にあった東京大学の文学部国文学科(夜間)に進み、昼夜の生活が始まりました。大学では初め国文学を専攻しましたが、既に私が主な古典文学作品を読み終えていたことを知った主任教授から近世国文学の研究を進められ、近松門左衛門を中心とした劇文学専攻へと変更しました。余談ですが、同じ教授のもとで近世国文学を専攻した昼間部の3年後輩に、八王子市議会議員の梶原幸子氏がいたことを知ったのは昨年のことです。

職歴としては、大学卒業の1984(昭和59)年に財団法人東京都私立学校教育振興会(現在の東京都私学財団)に就職しました。在職11年間で担当した業務は、教職員の研究助成、学校経営者研修、事務長研修、海外帰国子女に関する教育調査、教育振興会の財務、役員会運営等で、その内の1年間は日本大学本部財務部主計課で学校法人の予算決算、各学部と各高等学校の財

務分析を担当しました。その後、恩師であった二松学舎大学附属高等学校長の佐佐木鍾三郎先生が学校法人二松学舎の理事長に就任したのをきっかけに教育振興会を退職して二松学舎に移り、法人本部で総務、人事、私立大学経常費補助金等の業務を4年間担当しましたが、1996(平成8)年4月、教育関係者等からのお誘いもあって、短期大学から4年制大学に改組転換して新たにスタートすることになった八王子市滝山町の東京純心女子大学(現在は東京純心大学)に移りました。八王子との関係はここから始まり、東京純心女子大学では、大

学運営、財務、人事のほか入試広報、生涯学習等の業務を担当しました。その後、他大学と同様に少子化の影響を受けて生き残りをかけた大学改革に注力し、経営者の判断の重要性と、自身のやり尽くした感を強く感じはじめた頃、人知れず他界した父の供養を兼ねて高野山の宿坊で数日間を過ごしました。そして高野山か

ら帰宅した翌日、以前から大  
学行事の關係で面識のあった  
当社の大野彰会長（当時は専  
務）から電話があり、その後転  
職の話が進んで2007（平  
成19）年8月に当社に入社し、  
現在に至っています。高野山  
から高尾山へという流れは弘  
法大師のお導きに違いないと  
感じている次第です。

2017（平成29）年6月  
に社長に就任した私は、前述  
の渋沢栄一が提唱した『論語  
と算盤』を経営理念としてい  
ます。論語と算盤とは、倫理観  
に基づく戦略の実践による利  
益の追求であり、日本資本主  
義の父とも呼ばれた渋沢栄一  
は、経済の発展には論語すな  
わち倫理と、算盤すなわち利  
益の両立が大切であると説き  
ました。これが道徳経済合一  
説です。具体的には、利益も競  
争も貴び善用すること、信用  
こそが全てのものであること  
と、そしてひたすら誠実に努  
力して道を切り開いていくこ  
とが大切であるとし、マネジ  
メントの必要性を提唱しまし  
た。また、多くの人や社会全体  
の利益になる仕事をすべきで  
あるという考え方を、事業を  
行ううえでの見識としまし  
た。企業にとって重要なコ

ポレートガバナンス（企業統  
治）、内部統制、CSR（企業の  
社会的責任）等の要件は、もと  
を辿ればこの「論語」倫理」に  
行き着くものであり、100  
年以上も前の1916（大正  
5）年に著された『論語と算  
盤』という論説によって、現代  
にも通じる経営の本質を提唱  
した渋沢栄一の慧眼には驚く  
ばかりです。

また、「過去には感謝を。現  
在には信頼を。未来には希望  
を。」という言葉を会社運営の  
原拠にしています。当社は再  
来年の9月に創立100周年  
を迎えますが、その歴史は戦  
前の多くの困難を礎として地  
域観光開発に邁進してきた歴  
史であり、先人たちの苦勞と  
尽力によってその都度試練を  
乗り越えてきました。ですか  
ら過去には感謝し、現在会社  
で働く従業員同士、関係企業、  
そしてお客様との深い信頼関  
係を築き、未来に希望が持て  
る会社にするために、私自身  
も従業員とともに成長してい  
かなければならないと思っ  
ています。

プライベートでは、実演者  
として日本舞踊協会会員、一  
中節（いっちゅうぶし）とい  
う古い浄瑠璃の太夫という一

面を持つていますが、一中節  
の人間国宝で師匠でもある家  
元宇治紫文師と2001（平  
成13）年度のNHK古典芸能  
鑑賞会に出演したのを最後に  
主だった活動は休止していま  
す。また、文芸、美術、音楽、演  
劇などの芸術鑑賞と中国古美  
術の収集を趣味として、妻  
娘、母と4人で暮らしていま  
す。

私が高校に進学する時、書  
道の師であった創玄書道会の  
金子聴松先生は私に、「君は将  
来樺のような大木になりな  
さい。杉は成長は早いですが根が浅  
いのでぱったりと倒れる。樺  
は上に一尺伸びれば下にも一  
尺伸びる。したがって堅実な  
のである。」と言われました。  
金子先生の言葉どおりになっ  
ていない今の自分を恥ずかし  
く思います。幼少期からの  
様々な体験と論語の教えを通  
して、人の内面を理解するこ  
うなことを、自分自身を強く  
生きるということだけではでき  
ているように思います。

論語と  
算盤



次年度  
第55代会長

# 金子丸出航準備へ

理事会にて次年度理事・役員が決定し、12月6日（金）例会終了後の年次総会にて承認されました。金子丸が半年後の出航に向けていよいよ準備開始です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。



2020～2021年度 東京八王子西ロータリークラブ理事・役員

- |  |  |
|--|--|
| <p>■役員</p> <p>会長 金子 裕一</p> <p>直前会長 石森 浩元</p> <p>副会長 小沢 孝志</p> <p>会計 倉田 正</p> <p>幹事 中村 晋也</p> <p>会場監督 石井 昭久</p> | <p>■理事</p> <p>副幹事 原 啓一郎</p> <p>山本 俊明</p> <p>職業奉仕委員長 蔵本 健</p> <p>社会奉仕委員長 松島 勝</p> <p>国際奉仕委員長 立花 探</p> <p>新世代委員長 山口 寛</p> <p>プログラム委員長 西川 誠治</p> <p>親睦・家族委員長 小杉 吉己</p> <p>広報委員長 原 巖</p> |
|--|--|

例会報告

第2579回 ● 2019.12.6 (金)

- ◇司会 野口文男会場監督
- ◇開会点鐘 石森浩元会長
- ◇君が代斉唱
- ◇Rソング 奉仕の理想
- ◇食事と交歓 100万ドルの食事
- ◇出席報告 橋本出席委員長 会員109名中76名出席。出席率78・35%。前々回11月22日の出席率67・35%を83・67%に修正します。
- ◇ニコニコ発表 西川財務委員
- ◇会長挨拶 石森浩元会長 \*今年紅葉の前の黄色いままの落ち葉が目立ちます。
- \*明日は気温が下がり、積る心配はなさそうですが雪が降るかもしれませんので、十分お気を付けてください。
- \*来週の例会の次は年忘れ家族例会です。年内の例会はあと2回です。年内出席のほど宜しくお願いいたします。
- \*本日は例会終了後に年次総会がありますし、月初の例会ということで三祝もございまして、挨拶はこのへんで終わりにしたいと思います。
- ◇幹事報告 神辺和幸幹事 \*本日ポストの方へパンフレットを2種類配付いたしました。来年6月7日のガバナーナイト案内にご参加される方は事務局

局へお知らせください。  
 ・来年2月24日・25日に地区大会案内。24日夕方にインターナショナルナイト、25日13時より本会議開催。追ってご案内いたしますが、25日の朝はバスで新高輪へ向かい午前中に到着、その後各自お昼を取っていただき、13時からの本会議にご出席という形になります。

\*来年3月27日(金)13:00~16:30地区の「第7回奉仕のつどい」が赤坂区民ホールで開催。是非ご参加ください。  
 \*来年5月17日(日)あなたのロータリーフェスティバル開催。協賛プランはA4000円から特別協賛100万円まであります。ご協力のほど宜しくお願いいたします。Aプランでポロシャツが1枚受け取れます。これとは別に、タイの浄水器設置事業視察と式典に行くと、東京八王子西RCメンバーはこのお揃いのポロシャツで臨みたいと思います。ご協力をお願いいたします。

\*浅田ガバナーより、千葉台風19号被害と首里城火災に対する義捐金のお願いがございました。理事会にて審議し、予納金よりそれぞれ500円ずつ、お一人当たり1000円を寄付することにいたしました。

◇委員会報告

市川 隆国際奉仕委員長・関 和之職業奉仕委員長  
 三祝(敬称略)  
 会員誕生祝

樫崎博、森明、田辺隆二郎、高橋光康、平沼北斗、笠井豊、大田吉彦、瀬上安  
 会員令夫人誕生祝

城所敬子様、山田美代様、榊田和加子様、伊藤彩子様、池田あゆみ様、笠井和美様、立花章子様、山本淳子様、船江綾子様  
 結婚記念祝(敬称略)

的田健司、船江栄次、八木知祥、小林秀司  
 ◇スピーカー紹介  
 樫崎 博 会員  
 スピーカー  
 船江栄次 会員  
 テーマ

「インシエーション・スピーチ」  
 ◇閉会点鐘 石森浩元会長  
 年次総会

次年度理事役員承認について、収支中間報告  
 満場一致で承認



2019.12.6 (金)

◇石森会長・本日は船江会員のインシエーションスピーチです。宜しくお願い致します。

◇神辺幹事・船江会員のインシエーションスピーチ楽しんでお楽しみください。

◇鈴木重春・このたびは葬儀・通夜告別式にご参列いただきまして誠にありがとうございました。ございました。

◇樫崎・誕生日祝いをいただきますので。

◇森・誕生日祝いがとうございます。

◇金子・次年度の理事・役員候補が決まりました。宜しくお願いします。

◇大田・結婚祝いが有難う御座いました。また、今月誕生日をいただきました。

◇秋間正好・お誕生日のお祝いありがとうございます。

◇中村・次年度の理事・役員候補者が理事会を通りまして、全員協議会での御承認よろしく申し上げます。

◇平沼・誕生日プレゼントありがとうございます。

◇池田・妻の誕生日をいただきます。ありがとうございます。

◇笠井・誕生日プレゼントありがとうございます。

◇淵上・今月65歳の誕生日を迎えます。お祝いありがとうございます。

◇的田・今月結婚記念日のお花を頂きます。船江さんのインシエーションスピーチ楽しんでお楽しみください。

しみにしています。  
 ◇山本俊明・三祝ありがとうございます。  
 ◇船江・インシエーションスピーチをさせていただきます。  
 (順不同・会員敬称略)

東京八王子西ロータリークラブ

〒192-0083 東京都八王子市旭町 14 番 1 号 京王プラザホテル八王子 8F

TEL.042-649-3751 FAX.042-649-3753

http://www.hachioji-west-rc.org

会長 石森 浩元 幹事 神辺 和幸

広報委員会 浅川 立憲 小林 孝行 原 巖 小杉 吉己



皆様の投稿をお待ちしております。お気軽にお寄せください。

アイデアを上げよう : www.rotary.org